

刊行に寄せて



文部科学大臣

松本洋平

文部科学省では、教育、科学技術・学術、スポーツ、文化芸術における施策の新しい動きについて、広く国民の皆様を紹介するために、「文部科学白書」を刊行しています。

令和7年度文部科学白書では、特集として二つのテーマを取り上げています。

特集1では、「教師が子供一人一人と向き合える学校へ～「働きやすさ」と「働きがい」の実現に向けて～」と題して、平成31年に働き方改革に関する答申が取りまとめられて以降、「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法等の一部を改正する法律」と「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律の一部を改正する法律」の成立に至るまでの経緯や関連施策の展開を紹介しています。

特集2では、「我が国で開催される国際競技大会」として、国際競技大会の開催意義や令和7年度に我が国で開催された世界陸上、夏季デフリンピックの軌跡、そして、令和8年度に開催のアジア・アジアパラ競技大会に向けた取組を紹介しています。

社会構造や国際情勢など、様々な変化の中にある我が国ですが、その未来を切り拓くのは、いつの時代も「人」と「知」の力です。文部科学省は、教育、科学技術・学術、スポーツ、文化芸術という分野を通じて、強い日本・豊かな未来の礎を築く組織です。このことに誇りを持ちながら、一人一人が未来に希望を持てる社会を形成すべく、責任を持って、政策を実現させてまいります。

本白書が、国民の皆様幅広く参照され、文部科学省全体の施策に関する理解を深める一助になるとともに、豊かで幸せな人生と社会の持続的な発展を目指す文部科学行政のさらなる推進につながることを願っております。

